

# 令和5年度 学校教育自己診断 (結果)

教職員用

回収率： 95%

診断内容	意見		
	肯定的意見	否定的意見	分からない
1. 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている	95%	2%	3%
2. 重度重複障がい児童生徒の実態をふまえた教育課程になるよう、教職員で話し合っている	85%	8%	5%
3. 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	88%	7%	5%
4. 年間の学習指導計画について、各部、学年、教科、学習グループでよく話し合っている	87%	8%	5%
5. 指導内容について、児童・生徒の実態に合うように、教職員間で話し合いがもたれている	93%	3%	3%
6. 児童・生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている	98%	0%	2%
7. 自立活動の指導に当たっては、児童・生徒が興味をもって主体的に取り組めるよう工夫している	95%	2%	3%
8. この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている	82%	8%	10%
9. 教育相談体制が整備されており、児童・生徒が学級担任以外の教職員とも相談することができる	70%	23%	7%
10. いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる	78%	12%	10%
11. 児童・生徒一人ひとりが、興味・関心、適正に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	85%	5%	10%
12. 道徳教育は、年間指導計画に基づき、継続して行っている	85%	7%	5%
13. 学校行事が、児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている	93%	5%	2%
14. 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている	88%	8%	3%
15. 学校の諸活動において、安全指導が徹底している	93%	5%	2%
16. 学校は、防災に関する意識を高める取り組みを行っている	100%	0%	0%
17. 中期的（3か年）な目標を踏まえ課題を明確にした「学校経営計画」を作成し、PDCAサイクルによる学校経営を推進している	85%	8%	7%
18. 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている	62%	23%	15%

I  
教育活動に関するもの

II  
学校経営に関するもの

19. 各分掌や学部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している
20. 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化している
21. 学校予算は、一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている
22. ICTに関する授業実践の蓄積ができている
23. 施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている
24. 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている
25. 指導要録等の記入・点検が年度内に適正に行われている
26. 働き方改革に向けた取組みにおいて、教職員が課題を解決しようと意識し、行動している
27. 個人情報保護の観点から、児童・生徒の個人情報に関する管理システムが確率している
28. 教育活動に必要な情報について、ホームページや配付物等で児童・生徒・保護者や地域への周知に努めている
29. 「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」について、教職員の共通理解を図り、活用している。
30. 学校は、地域の学校園や関係機関との連携を推進し、出前授業や外部講師を招聘するなど、本校の教職員の専門性の向上や地域の支援教育におけるセンター的機能の充実につとめている

